

神奈川県における魅力ある職場作り推進に向けた共同宣言 ～すべての人がいきいきと安心して活躍できる社会に～

神奈川県の人口は909.6万人と全国第2位で、現時点では増加していますが、近い将来減少していくことが見込まれており、高齢化が進展する中、生産年齢人口は既に減少しています。

労働者を取り巻く状況を見ると、神奈川県内のパートを除く労働者の年間総実労働時間（平成26年）は、依然として2000時間を超える2022時間（全国平均2021時間）となっています。

神奈川県内における非正規労働者数は151.6万人（平成26年）とその割合は37.7%（平成26年）にも上り、増加傾向にあります。こうした中、神奈川における正社員の有効求人倍率は、0.69倍（平成28年2月）にとどまっています。

また、神奈川県における管理的職業従事者（就業者のうち会社役員、企業の課長相当職以上、管理的公務員等）に占める女性の割合は11.0%（平成24年）と全国（13.4%）より低く、25歳～44歳の世代で育児をしている県内の女性の有業率は41.1%と、全国（平均52.4%）の中で最も低い状況にあります。

このような状況の下、神奈川県の活力と成長力を高め、持続可能な社会をつくるとともに、経済の好循環を進めていくためには、企業における人材の定着・活用を図っていくことが求められます。

そのためには、企業において、長時間労働の削減と働き方改革、非正規雇用労働者の正社員転換・待遇改善、新卒者等の正社員就職の実現、女性の活躍推進、魅力ある雇用機会の創出などに取り組むことが重要であり、こうした取組により、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）が図られ、全ての人々が、育児や介護を始めとするライフステージの各場面で、安心していきいきと働くことができるようになります。また、女性の活躍する社会の実現及び若者・高齢者・障害者等がその能力を一層発揮できるような社会の実現にも繋がります。さらには、人材の確保・育成、生産性の向上による地域産業の発展などの効果も期待できます。

私たちは、これらの共通認識を持ち、県内におけるこれら取組の気運の醸成を図り、神奈川県がより魅力的で元気になることを目指し、各団体等それぞれの実状に応じて、次の取組を推進してまいります。

(1) 長時間労働の削減と働き方改革等

長時間労働の削減や年次有給休暇の取得を促進するとともに、個々の労働者の生活スタイルに対応できる柔軟で多様な勤務形態の普及等を含む働き方改革の推進。また、ブラックバイトといった言葉に代表される若者の過酷な働き方をなくしていくための取組の推進。

(2) 非正規雇用労働者の正社員転換・待遇改善

非正規雇用労働者、特に不本意非正規については正社員への転換を推進するとともに、非正規雇用労働者の意欲・能力に応じた賃金決定、教育訓練、福利厚生面での改善の推進。また、新卒者をはじめとする若者の正社員就職の実現の促進。

(3) 女性の活躍推進

女性に対する採用、昇進等に関する機会の積極的な提供等により女性が個性と能力を発揮できるようにするとともに、職業生活と家庭生活との両立が可能となり、キャリアの継続が可能となるような環境の整備。

(4) 魅力ある雇用機会の創出

地域での魅力ある職場づくりや地場産業の振興と雇用対策の一体的な取組等による、良質で安定的な雇用機会の創出。

平成28年4月27日

一般社団法人神奈川県経営者協会	会長	小 俣 一 夫
神奈川県商工会議所連合会	会 頭	上 野 孝
神奈川県商工会連合会	会長	関 戸 昌 邦
神奈川県中小企業団体中央会	会長	森 洋
一般社団法人神奈川経済同友会	代表幹事	石 渡 恒 夫
日本労働組合総連合会神奈川県連合会	会長	柏 木 教 一
神 奈 川 県	知 事	黒 岩 祐 治
関 東 経 済 産 業 局	局 長	鍛 冶 克 彦
神 奈 川 労 働 局	局 長	藤 永 芳 樹